国立病院理学療法士協議会北海道東北部会人材育成部

北海道東北部会研修シリーズ

「理学療法士はこれからの社会に備え、どんな準備をすべきか

～急性期分野における診療報酬改定の視点から学ぶ～」

北海道東北部会より、Web研修およびオンデマンド配信研修のご案内です。

我々は診療報酬の下で患者に理学療法を提供しています。そのため同じ理学療法を提供しても診療報酬改定で点数が変わると病院への直接的な収益は変動します。一方で診療報酬について学ぶ機会はほとんどありません。昨年は医療・介護・障害におけるトリプル改訂が行われ、急性期分野においても大きな変化がありました。診療報酬改定について学ぶことで国がどのような点をリハビリテーション専門職に期待しているのか、また医療資源をどのような方向に持って行きたいのかを理解することにつながります。

今回は急性期分野の第一線でご活躍されている講師の先生にご講演をお願いし、令和6年診療報酬改定から見えてくることの解説と、それに対して我々は今後どのような備えをしなければいけないかお話しいただきます。皆様と一緒にこれからのリハビリテーションのあり方について考える機会となれば幸いです。

■テーマ「理学療法士はこれからの社会に備え、どんな準備をすべきか～急性期分野における診療報酬改定の視点から学ぶ～」

■目的：① 診療報酬改定のプロセスを知る

②急性期分野の診療報酬改定の傾向を学ぶことで理学療法士が求められていることについて考える

■講師：神戸市民病院機構中央市民病院リハビリテーション技術部

技師長代行　岩田健太郎先生

■日時：2025年2月27日（木）　17：30～18：30（予定）

■zoomミーティング ID：884 2449 3937 パスコード：0227

■配信期間　2025年2月28日（準備完了次第）～3月31日

■配信形式　準備が整い次第、再度ご案内いたします

■視聴対象者　部会員（PT）

■連絡：ご不明な点やご意見がございましたら下記連絡先までお願いします。

北海道東北部会　人材育成部：

　宮城病院　運動療法主任　佐藤昌代（sato.masayo.dn@mail.hosp.go.jp）

北海道医療センター　吉川友洋（yoshikawa.tomohiro.bt@mail.hosp.go.jp）